

# 第5回 福岡市環境行動賞

～受賞されたみなさんの取り組みを紹介します～



# 大賞 学校

## 福岡市立特別支援学校「博多高等学園」

職業教育で学んだ知識・技能等を生かし、地域の環境美化に貢献!



業務終了後の報告風景

平成 16 年 4 月に開校した高等特別支援学校であり、生徒の多くは軽度の知的障がいがあり、卒業後の企業就労を目指している。

環境活動のコンセプトは「企業（職業技能者）から学んだ心と技を生かし、地域の環境美化に貢献」として、特別支援学校や障がい者の理解を深めてもらうこと、また障がい者雇用（職業的自立）の促進につながることを目指している。

主な活動は、学校周辺の道路等の落ち葉かき、ごみ拾いや、博多川遊歩道にある花壇の除草作業、水やり、フラワーポットの整備等、開校以来 7 年間継続して取り組んでおり、地域からの評価も高い。

活動にあたっては、公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の協力を得て、職業技能者による授業や研修が展開されており、平成 20 年度から同法人が主催する「クリーンアップ福岡」にも参加している。

清掃活動では、お互いに協力して活動すること、歩行者などの迷惑にならないように活動すること、清掃用具等の正しい使い方を身につけることなどを心がけて取り組んでいる。

生徒たちに「人のために働く喜びを味わってもらうこと」を重視しており、この活動を通して、生徒が清掃や園芸の仕事に興味を持ち、関連会社に就労するよい機会となっている。



「クリーンアップ福岡」へ参加



研修で掃除道具の使い方を学ぶ

# 最優秀賞

個人

山崎 一

## リーダーシップを発揮し地域の環境美化に貢献

長年にわたり吉岐東校区自治協議会の会長として、常に地域の先頭に立ち、活動の計画から実行までを推進しリーダーシップを発揮しており、校区には無くてはならない存在と評されている。

毎月第3日曜日の地域一斉清掃では吉岐団地内及び公園、周辺道路の清掃を子ども会や老人クラブ等、様々な団体が参加して活動している。

吉岐団地内の余った土地を花でいっぱいにし、環境美化を行うことでごみのポイ捨て減少もねらった「花いっぱい運動」や、子ども達へ自然環境保全の意識を深めてもらうために毎年10月に名柄川でひぶなの放流を行っている。

また緑のカーテン普及活動、施設見学等による学習会の企画・実施等様々な取り組みを長年にわたり精力的に実施している。

自分達で出来ることは自分達でやる、という意識のもと活動を続けている。



放流前の「ひぶな」

# 最優秀賞

団体

小呂女性部

## 50年以上にわたり清掃活動に取り組む

小呂島は、福岡市の北西40kmに位置した小規模な離島であり、約210名の島民が生活している。

対馬暖流の影響で冬でも降雪はほとんどなく、島全体が緑に覆われている。

男性は船団を擁して旋網漁に従事し、女性は海女漁を行っている人も多い。生活の糧となる漁業と大漁・安全を祈願する伝統行事は今日においても脈々と息づいている。

生活に密着した様々な行事を支えているのが女性部で、季節を問わず暑い日も寒い日も、全島の除草や海岸などの清掃活動を50年もの長きにわたり継続して実施し、島民が快適に暮らせるように生活環境を整えてきた。

また、島民で組織する水上消防団の女性団員として防災活動の一役も担っており、環境美化のみならず、島民の郷土愛を育むことに大いに貢献している。



# 最優秀賞 学校

福岡県立筑前高等学校

## 生徒が率先して環境美化活動を実施



通学路に沿った周船寺川を「多くの生物が生息でき、子どもたちが遊べるような美しい川にしたい」という願いと、地域住民への感謝の気持ちから、環境美化・自然環境保護に努めている。「周船寺川を守る会」にも加入しており、生徒がボランティア活動を楽しみながら行っている。

年4~5回、学校周辺及びJR周船寺駅から学校までの通学路、周船寺川とその周辺において、ごみ拾い・除草作業等を放課後に実施しており、この活動は平成6年から継続している。

また学校内では紙類のリサイクルを徹底し、日頃からごみの減量化を心がけ、環境保全意識向上に努めている。



# 優秀賞 個人 篠原 ヤエ子

## 自宅にリサイクルボックスを置き地域の資源物回収に一役

20年以上にわたり、地域の環境美化、ごみ減量リサイクルのため自宅敷地内にリサイクルボックスを設置し、地域の方がいつでも資源回収に取り組めるよう常時開設している。古紙等の誤った出し方をされた方に対しては適切な指導を行っており、地域住民の環境美化に対する意識向上に貢献している。

また自宅に専用の廃油石けん場を設け、年に数回は講習会での講師も務めるほど、廃油石けんづくりに精通しており、廃油石けん で得た収益は福祉活動に寄附をするなど、町内の方からの信頼も厚い。



廃油石けん

# 優秀賞 個人 清水 増二

## 地域のごみ減量・資源回収・環境美化に貢献

和白東環境活動連絡会の会長として、校区紙リサイクルステーションの立ち上げに奔走。管理責任者として、資源物の受入、分別点検、分別指導、倉庫内の整理等年間100日間にわたり活動を行っている。町内会では、平成10年から全世帯参加の町内清掃を3ヶ月に1回実施。

また、平成18年から資源物回収を軒先での回収に変更して毎月実施。高齢者からは持ち出しの苦勞から解放され大変歓迎されている。地域住民に声かけをし、11年連続でラブアース・クリーンアップへ参加しており、地域のリーダー的存在として活動を行っている。



## 優秀賞 団体 梅林第二団地

### 団地住民が結束して環境美化活動を長年にわたり継続

町内の約8割の世帯が参加し、2ヶ月に1回、町内清掃及び団地まわりの側溝の土上げを実施。自分たちが住む団地は自分たちできれいに、との思いから平成2年に団地が建て替わった時から行っている。年々高齢化してきている団地だが、出来る人が出来る範囲で継続している。

また町内にリサイクルボックスを設置し、いつでも住民が古紙等を持ち込めるようにし、団地住民のリサイクルに対する意識向上に役立っている。



## 優秀賞 団体 草ヶ江校区ごみ減量リサイクル推進会議

### 様々な講座による啓発活動でごみ減量

古着を使った布ぞうり作り、生ごみを堆肥化するダンボールコンポスト、油を捨てて川や海を汚さないために廃油で石けんを作るリサイクル学習会の開催や、野菜くずを活用したエコ料理教室を高齢者配食弁当のボランティアスタッフへ実施するなど、年間を通じてごみ減量・リサイクルのための様々な啓発活動を行っている。

またイベントでのパネル展示等により、ごみの正しい分別とリサイクルへの関心が地域に広まっており、校区のごみ減量への寄与度は高い。



## 優秀賞 団体 松友会

### 天候に関わらず松島公園の清掃実施

平成5年に会を結成。地域の方々に対する奉仕の精神で、結成以後晴雨に関わらず、毎月第4日曜日に東区松島にある松島公園の清掃を会員全員で実施している。

住民の憩いの場となっている公園がいつも清潔に保たれているため、最近では地域住民の方も自主的に参加するなど地域の方への啓発にもつながっている。



## 優秀賞 団体 福岡掃除に学ぶ会

### 「日本一綺麗な博多駅をめざす」をスローガンに活動

ユニバーシアード福岡大会を契機として、九州の窓口である博多駅を「日本一綺麗な駅を目指す!」というスローガンを掲げ活動を始めた。

天候に関わらず毎月8日早朝から駅周辺の清掃活動を行っており、継続することで次第に駅を利用する高校生等にも活動の輪が広がり、今では幼児から老人まで幅広い世代の方が参加する活動となっている。

また平成10年に始めた「クリーンアップ博多デー」が、今では毎回200名以上の参加がある市民運動へと発展している。



# 優秀賞 学校 中村学園三陽高等学校保健委員会

## 「健康な体づくりは環境問題解決から」保健委員会が発信!

「健康な体づくりのためには環境問題を軽視できない」との考えから、保健委員会の生徒が自分達で、環境について自主的に学び、「ごみの減量と資源の有効活用方法」についての調査結果を福岡県高等学校保健会研究発表大会で報告した。

また、保健委員が環境に関する様々な事案を定期的に校内で呼び掛けることにより、学校全体の環境保全活動への意識向上に繋がっている。

その活動は校内のみならず、小・中学校での環境学習や西部3Rステーションのイベントに参加するなど校外へも活動の幅を広げている。



緑のカーテン作り



手作りのペットボトル回収筒

# 優秀賞 学校 はかたわん海援隊 (福岡大学)

## 樋井川清掃から博多湾の浄化を目指す

博多湾をきれいにするを目的に始めた活動だが、まずは海に流れ込む川をきれいにして、樋井川を中心に活動を行っている。

毎月第1日曜日に行う樋井川の清掃活動や年に1回の一斉環境調査等は、地域の方の参加も多く、地域に根付いた活動となっている。

清掃活動で集めたごみは組成調査を行い、その結果を公表することで、多くの人に樋井川の現状を知ってもらう活動も行っており、地域住民の環境意識向上にも一役買っている。



川での環境学習



# 優秀賞 事業者 福岡地所株式会社

## CO<sub>2</sub>削減目標の設定や各種取り組みのルール化により徹底した社内の環境意識改革を実施

「環境・安全推進本部」を設置し、全社的な取り組みを行っている。

運営する商業施設やオフィス、ホテルのCO<sub>2</sub>排出量を管理することで、社員の環境意識を向上させている。

また、各種取り組みのルール化により社内にCO<sub>2</sub>削減意識が浸透し、平成19年度に比べ平成22年度のCO<sub>2</sub>排出量は10.4%減少した。

さらに、小中学生対象の米の収穫ツアーや今秋開業した「キャナルシティ博多・イーストビル」で国内最大級(約3,000㎡)の壁面緑化を行うなど、環境への取り組みに注力している。



壁面緑化



ミストシャワー



稲刈り体験ツアー

## 奨励賞受賞者の活動内容ご紹介

- 紙リサイクルボックスや校区紙リサイクルステーションの管理を長年にわたり率先して実施
- 自宅近くの道路や公園のごみ拾いを長年にわたり継続
- 校区内の道路や公園等で四季折々の花の植栽・管理を行い、地域の美観向上に寄与
- 駅周辺の清掃や花壇の手入れ等を行い、環境美化に貢献
- 地域の集団回収において、積極的に住民に働きかけ資源物回収を実施

などの活動を継続して長年にわたり地域で行っています。



福岡市  
環境シンボルキャラクター  
「エコッパ」

# 奨励賞 受賞者一覧

## 表彰状受賞者(敬称略、各区50音順)

個人(3件)	
南区(1)	富田 卓雄
早良区(1)	堤 信雄
西区(1)	沖田 尚子
団体(4件)	
東区(2)	和白丘4丁目1区子ども育成会／和白第二明生会
南区(1)	A・R・C福岡
城南区(1)	別府団地ゆうゆう会

## 感謝状受賞者(敬称略、各区50音順)

個人(29件)	
東区(13)	今村 靖彦／加茂 信幸／木村 妙子／黒木 禮子／相良 須磨子／瀧口 俊雄／ 龍田 満／土井 紀佳／徳永 正香／中西 いづみ／中村 達雄／花井 哲江／矢嶋 崇
博多区(1)	高嶋 幾雄
南区(1)	小林 美佐子
城南区(6)	安芸 稔／内山 正巳／大原 博美／菊川 國男／児島 みはる／中村 明
早良区(2)	高尾 晃／西村 泰明
西区(6)	在郷 芳枝／鈴木 典子／徳永 清美／野田 敏勝／堀上 晃／松本 照代
団体(14件)	
東区(4)	ツルタみとま幼稚園／のむら貝塚ガーデンシティ町内会／ 箱崎校区ごみ減量・リサイクル推進会議／箱崎花の会
博多区(1)	博多駅東3丁目町内会
中央区(1)	昭和商事石油株式会社
南区(2)	文化シャッター株式会社九州支店／横手2丁目2区ボランティアグループにこここ会
早良区(2)	田新町新和会／室見川水系油山川河川を守る会
西区(4)	明日葉 G／壱岐東 体育部／石丸フラワー隊／つつじヶ丘子ども会育成会

## 福岡市環境行動賞とは

環境にやさしい都市の実現を目指し、福岡市における環境の保全・創造に高い水準で貢献し、顕著な功労・功績のあった個人・市民団体・事業者・学校を表彰する制度です。

先進性及び継続性に富んだ環境保全活動を実践している市民・団体等を顕彰し、広く市民に公表することにより、環境保全に関する市民の関心がより一層深まるとともに、その活動を全市に拡げることがを目的として、平成19年度に創設しました。

環境行動賞は下記の2つの区分に分けて表彰します。

### 自薦・他薦によるもの

○大賞

○最優秀賞

○優秀賞

#### ※特別賞

特定の分野での取り組みに著しい功績が認められる場合は特別に表彰する。

#### 【選考方法】

自薦・他薦による応募内容を、書類審査及び必要に応じて実地調査を実施のうえ、学識経験者等で構成する選考委員会において選考。

### 区からの推薦によるもの

#### ○奨励賞

感謝状：環境活動に3年以上継続して取り組み、他の模範となる活動をしている個人・団体。

表彰状：過去に感謝状を授与され、その活動を8年以上継続して取り組んでいる個人・団体。

#### 【選考方法】

区からの推薦により、選考委員会において承認。

## 福岡市環境局 環境政策部 環境政策課

〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号 TEL:092-733-5381 FAX:092-733-5592

[福岡市 環境局ホームページ] <http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/>

発行/平成23年11月 デザイン/㈱ビンスファクトリー



古紙配合率100%再生紙を使用しています

